

## 「第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成27年7月26日に開催した「第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」の内容は次のとおりでした。

名 称	第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
出席者	施策調査専門委員会 浅枝 隆、伊集 守直、鈴木 雅一、田中 充、吉村 千洋 県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、中門 吉松、西 寿子、 前田 裕司、森本 正信 (上記以外) 青砥 航次、佐藤 恭平、服部 俊明、林 義亮、増田 清美
開催日時	平成27年7月26日(日) 10:30~16:50
開催場所	横浜シンポジア(産業貿易センタービル9階)
内 容	<p>(1) 開催趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水源環境保全・再生の取組の情報提供・発信等を行い、県民意見を幅広く収集するとともに、「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」及び水源環境保全税についての県民周知を目的に実施した。</li> <li>特に第2期5か年計画満了時には、施策の前半10年の節目を迎えることから、これまでの取組状況全体を紹介するとともに、参加者と意見交換するための県民フォーラムを開催した。</li> <li>説明や意見交換を十分に行うことが可能なホール会場での開催とした。</li> </ul> <p>(2) 開催内容</p> <p>【午前の部】(議場)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 開会あいさつ…県民会議 田中座長、吉川副知事</li> <li>② 基調講演「水源地域の多様な役割と未来」… 涌井 雅之氏(ランドスケープアーキテクト・東京都市大学教授)</li> <li>③ これまでの取組みについて…市川水源環境保全課長 ・配布資料の内容紹介</li> <li>④ 討議の趣旨・論点説明…県民会議 田中座長 ・午後の部における討議の趣旨・論点説明</li> </ol> <p>【午後の部】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 意見発表(全体会)〔議場〕           <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者5名から討議を行う上での参考意見を発表 (意見発表者)</li> <li>・「水源保全地域の経済的価値の向上」…長崎大学大学院教授 吉田謙太郎氏</li> <li>・「森林環境と水源かん養機能」…東京農工大学准教授 五味高志氏</li> <li>・「林業現場と住宅建築における県産木材利用の現状」… 株神工舎建築工房 代表役員 田代信行氏</li> <li>・「丹沢大山自然再生計画によるシカと森林の一体的管理」… 日本獣医生命科学大学教授 羽山伸一氏</li> <li>・「水源河川流域の水質に関する現状と課題」…埼玉大学大学院教授 浅枝隆氏</li> </ul> </li> <li>② 討議(分科会)〔分科会A~D会場〕           <ul style="list-style-type: none"> <li>・4グループ(1グループ約30名)に分かれ、テーマ「これまでの10年の総括、これからの10年の取組み」について討議した。</li> </ul> </li> </ol>

③ 質疑・意見集約・評価アピール発表（全体会）〔議場〕

- ・分科会の各グループリーダーから討議概要を発表、発表内容に関する質疑及び意見交換、全体での意見集約を行った後、県民会議田中座長から評価アピール発表。

(3) 主催者

水源環境保全・再生かながわ県民会議

- ・施策調査専門委員会の有識者委員4名が分科会のグループリーダーを務め、公募委員7名が受付や案内などの会場運営のほか、分科会での進行役、書記を担当した。

(4) 参加者数

141名／200名（最大収容者数） ※アンケート回収数61枚

5 開催効果

- ・ 配布資料（「かながわ水源環境保全・再生これまでの取組み」）により、水源環境保全・再生施策の内容やこれまでの取組状況等について情報提供することができた。
- ・ 分科会では、水源環境保全・再生施策に対する課題等について、参加者による討議が行われ、事業内容等に関して様々な意見が寄せられた。

次頁に当日の様子（写真）を掲載



(県会議田中座長 開会あいさつ)



(吉川副知事 開会あいさつ)



(基調講演(涌井雅之氏))



(有識者による意見発表(全体会))



(討議(分科会))



(討議概要発表(全体会))



(質疑、意見集約(全体会))



(評価アピール発表(田中座長))